

広報

しょうぼうさつま

119

Vol.38

令和5年12月発行

編集・発行

さつま町消防本部

鹿児島県薩摩郡さつま町時吉366

TEL 0996-52-0119

FAX 0996-53-0119

放水はじめ

令和5年度
全国統一防火標語

火を消して
不安を消して
つなぐ未来

写真は宮之城聖母幼稚園の
べっぷ しゅんせいさん(6)

町内の火災情勢

一町内で発生した着衣着火と119番通報の注意事項

全国各地、そして町内において、たき火などによる「枯草火災」がこれからの時期に毎年多く発生しています。これらのほとんどが火の取り扱い時の不注意によるものですが、それ以外にも多くの原因による火災がさつま町内において発生しています。

本特集では「着衣着火」と「119番通報」についてフォーカスしました。一人一人が火災や救急について今一度考え、予防する意識を持つことで町内において発生する災害について十分に備えていただきますようお願ひいたします。

特に高齢者は、判断力、運動機能の低下により、着衣着火を起こす危険性が高く、白内障を患っていると、ガスコンロの炎などの青色系の色が見えにくくなり、危険性がさらに高まり、重大なやけどや死亡事故に繋がった事例が全国的に報告されています。

もし衣服に火がついたら



特に高齢者は、判断力、運動機能の低下により、着衣着火を起こす危険性が高く、白内障を患っていると、ガスコンロの炎などの青色系の色が見えにくくなり、危険性がさらに高まり、重大なやけどや死亡事故に繋がった事例が全国的に報告されています。

- ①ガスコンロの奥にある戸を開けようとした際、コンロの火が衣服に着火
- ②仏壇に物を置こうと手を伸ばした際、ろうそくの火が衣服に着火
- ③剪定した木にガソリンをかけて、ライターで火をつけたところ、衣服に着火

調理中のガスコンロや仏壇のろうそくの火などが「着ている服」に着いて、すぐに燃え上がる現象を「着衣着火」といいます。町内において、今年に入つてから3件の着衣着火事案が発生し、2名の方が救急搬送されています。

【町内で実際に発生した事案】

**着衣着火による事案が
今年は町内で3件発生**

災害通報は119番へ



町内において災害通報を行う場合、代表電話（五二一〇一一九）にダイヤルしている割合が県内他本部と比較して高くなっています。119番通報は災害のスイッチです。

消防車や救急車が必要な場合、代表電話ではなく119番通報してください。119番に通報をすると瞬時に電話をかけた人がいる位置情報が取得でき、消防車や救急車がいち早く向かうことができま

す。皆様のご協力をよろしくお願いします。

119番通報

消防車や救急車はサイレンを鳴らさないで緊急走行することはできません

緊急走行については道路交通法で決まっているため、走行中はサイレンを鳴らさないで走行することはできません。緊急自動車はいち早く安全に災害現場へ到着する必要があるため、ご理解をお願いします。

119番に間違えてかけてしまったときは「間違いです」とはっきり伝えてください

何も言わずに、電話が切れてしまった場合は、急変と判断し、発信元の調査のため、消防車や救急車を向かわせることができます。

出動中の救急隊から

状況確認の電話があります

119番通報は状況を聞きながら同時に消防車などに出動指令を出し、出動させていますので、電話を途中で切斷することなく最後まで通信指令員の質問に答えてください。通報が終わつた後に、出動中の救急隊などから現在の状況について、折り返しの電話をする場合もあります。

また、近くまでサイレンの音が近づいてきまし

さつまタイガーの一口メモ

去年の灯油を使っていますか?ガオ



去年購入した古い灯油を使うと、着火不良や燃焼不良、異常燃焼などが起こり、これらの原因で火災となる危険性がありますので、使用しないようにしてください。

また、劣化した灯油を使ってしまうと、不完全燃焼で、一酸化炭素中毒を招く恐れがあります。一酸化炭素は無色無臭であるため気づくのが遅れがちです。頭痛やめまいなどの症状があらわれ、場合によっては命の危険もあります。

処分方法 (例) ガソリンスタンドによっては
引き取ってもらうことができます。



消防×さつまびと

VOL.06

この連載では、消防とさつま町に関わる様々な人を紹介します。
第6回目は「W じいちゃん&お父さん」を消防団にもつ中学1年生を取材。

ダブル

W じいちゃん&お父さんは地元を守る消防団



写真 (左から野元益美薩摩方面隊長、曾山哲弘団員(神子分団)、曾山龍清さん、曾山清文鶴田方面隊長)

曾山 龍清さん (宮之城中学校1年)

現在、宮之城中学校の卓球部。小学生の時には剣道をしていたそうで、聞くと指導者は当消防本部の萩木場消防長!

右の写真は、小さい頃の龍清さん。お父さんのする敬礼や消防団の操法訓練の真似をよくしていたそうです。



私のじいちゃん2人とお父さんは、消防団員です。しかも、じいちゃんはどちらも方面隊長です。

小さいときから消防団員の家族の中で育ち、火事が発生したという知らせがあるとすぐに火災現場に向かったり、消防車両の点検や警戒に向かったりする姿を近くで見てきました。5才くらいの頃にはその姿にあこがれを持ち、将来は消防士になりたいと思うようになりました。自分の仕事もしているのに、ボランティアで地域のために消防団活動をしているじいちゃんとお父さんを尊敬しています。消防本部の消防士さんは「消防団がいなければ火事も消えないし、大きな災害が発生したときも消防団がいなければ絶対に安全は守れない」と言っていました。地域のために働く消防団員はとてもかっこいいと思います。

消防団の最近の活動



9月9日の救急の日に、女性部が救急医療町民講座で心肺蘇生法について寸劇を初披露!この日のために、仕事が終わってから寸劇の練習や舞台の道具作りなどを行いました。



10月20日に消防団OBを中心に結成されている「消防災害支援隊」の会議がありました。消防災害支援隊は、火災発生時には水利への誘導や交通整理などの消防団の後方支援を行っています。

ハイブリッド車研修を実施

警 防 高電圧バッテリー積載の車両は注意



ハイブリッド車の火災・救助活動時には、高電圧部分を不用意に破壊することで感電等の二次災害を起こす可能性があります。

鹿児島トヨタ自動車株式会社様のご協力をいただきハイブリッド車における火災時の消火方法や、交通事故で救助等が必要となった場合に、「高電圧バッテリー」による二次災害を防止し、安全に活動ができることを目的として研修会を実施しました。

AED設置箇所をホームページで公開

救 急 即アクセス可！近くのAEDをチェック!!



ホームページ
QRコード



町内にある AED の設置箇所を消防本部のホームページから確認できます。「目の前で人が急に倒れた！意識がなく呼吸もしていない……。こんな時に AED があれば……」いざという時、迅速に AED を使用できるよう、身近にある AED の設置箇所を事前に把握しておきましょう。

消防本部のホームページのトップ画面にある「AED 設置箇所」のリンクをクリック！

住宅用火災警報器について

予 防 煙型・熱型・無線式連動型の3種類をチェック！ 住警器が義務設置だガオ！

町では、寝室への

住警器が義務設置だガオ！



煙型と熱型、そして無線式連動型住宅用火災警報器の3種類の住宅用火災警報器があるのはご存じですか。まず、煙型と熱型の2つの住宅用火災警報器（以下、住警器）は感知する方法に違いがあり、そのため設置を推奨する場所も異なります。町では、すべての寝室（2階に寝室がある場合は階段にも）に煙型住警器を設置することが義務付けられています。

火気を多く取り扱う場所に熱型ではなく、煙型を設置してしまうと「魚を焼く煙で作動！！」ということも発生してしまいます。ご購入される際は確認するようにしてください。

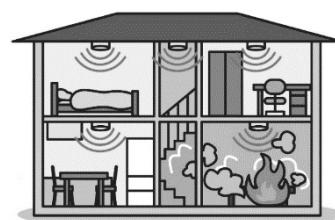
また、無線式連動型の住宅用火災警報器とは、1箇所の警報器が火災を感じて警報音を発した場合、他の部屋に設置した警報器も連動して警報音を発する住警器です。

義務設置となってから10年が経過し、電池切れや故障も多数報告されておりますので、今一度、住警器の点検をお願いします。点検方法などは町公式ホームページやYouTubeで説明しております。QRコードから視聴できますので、是非ご確認ください。

YouTube
QRコード



種類	煙型	熱型	無線式連動型
設置場所	寝室など	台所	部屋による



連動型のイメージ

さつま町消防本部にフォーカス

FOCUS SATSUMA FIRE VOL.06

消防本部について様々な視点からご紹介するコーナーです。
今回は、女性消防職員用の施設について紹介します!!



女性専用施設の充実

令和5年4月、初の女性職員2名を採用しました。

男性消防職員と同じ隔日勤務をする女性消防職員は、この仮眠室で休憩をとり、夜間の出動に備えます。庁舎内には、仮眠室のほか女性専用のシャワー室、洗面台、洗濯機、衣類乾燥機を備えています。

※隔日勤務：24時間の交代制による勤務のこと

県内には現在40名の女性消防職員があり、日勤や隔日勤務を行い、火災や救急の現場で働いています。

集まれ! ちびっこ消防士



さつま町消防本部には、子供用の防火衣・救助服・救急服があります。消防の服を着て写真を撮りませんか？予約は不要です。消防本部にいつでも遊びに来てください。



町公式SNS

Facebook



Instagram



LINE



YouTube



消防本部では、町公式SNSやホームページ「ほっと写真館」のコーナーで日頃の様子を写真などで公開しております。